

県立四倉高等学校

教科名等：ロングホームルーム
単元(題材)名：「男らしさ 女らしさって何だろう？」
～男女が互いに理解し合い、協力し合うためには～
学年：第1学年

実施状況

普段何げなく感じている「男らしさ」「女らしさ」について考え
本当の男女平等とは何かを考えさせる機会とした。数年後の将来
像をイメージし、家族において、また社会において男女がどう協力
すべきかについて話し合った。展開にあたっては事前にアンケート
をとり、生徒が持っている「男らしさ」や「女らしさ」のイメージ
や将来の異性に求める理想像について生徒の実態を把握しながら、家庭において男女がどう協力
すべきかを学年教員へのインタビューの映像もまじえて展開した。



児童・生徒の感想

- 授業を通して男女が選んだ理想像は「やさしい人」であることがわかった。「男女共同参画社会」とは、男女が「こうあるべきである」という考えにとらわれず、自分らしくお互いに助け合いながら共に生きる社会であるということがわかった。近い将来、結婚して楽しく生活をしていくためには、自分に非があるときには素直に謝ることや親を大切にし責任を持って生活すれば良いことがわかった。(1年男子)
- 私がこの授業で女性だからと家事を全て任せるのではなく、男性も家事に参加して夫婦助け合うべきなんだとと思いました。先生方のインタビューも夫婦円満の秘訣が聞けてよかったです。(1年女子)

参観者の感想

- 我が家では夫がとても協力的でとても溫和です。子ども達もその姿を見ていて、長男は家でもいろいろと手伝ってくれます。まずは親がお手本だと思います。
- 事前アンケートをもとにクイズ形式で授業を展開するなど生徒の興味を引くための工夫がたくさんなされており、日頃から生徒と深くかかわっていることが伝わってくる授業で、大変楽しく拝見させていただきました。他の級友の意見を聞くことにより、自分の考えを深めることができたのではないかと思います。

指導者の感想

授業では、生徒が日頃思っていることを取り上げ、ランキングを作ることによって、生徒の考え方の傾向をつかむことをねらいとしました。異性に対する理想像は、物質的なことや表面的なことよりも精神的なことを大切に思う生徒が圧倒的に多いことがわかり、私自身も生徒も共に驚



き、新鮮な思いを抱くと同時に心が温まりました。とにかく始めは身近な話題で興味が持たせることを目標に授業を組み立てました。今後はどのように男女が協力し合っていくべきかということについて、生徒が話し合う形につなげていきたいと考えています。